

文化庁における日本映画の海外展開施策の改善・拡充要求について

文化庁では映画を通じた文化交流、日本映画の国際展開を推進するため、映画の国際共同製作への支援やアジアでの日本映画特集上映を実施することで、日本映画の海外での上映展開機会の獲得、国際文化交流の質的向上を図るとともに、インバウンドによる観光振興など経済活性化につなげていくものである。

1. 国際共同製作映画への支援（文化芸術振興費補助金）

平成29年度要求額 310百万円
(平成28年度予算額 208百万円)

【概要】

国際共同製作による映画の製作活動を支援することにより、共同製作相手国での日本映画の上映展開の拡充を図る。

【制度改善】

本検討会議で要望のあった①「複数年にわたる助成」について、柔軟に対応していけるよう改善を図るとともに、②経費3億円以上の案件については補助額上限をアップ（従来5千万円→1億円）。また、③共同製作によって映画撮影に使用された地域が話題になることで、国内はもとより海外からの観光インバウンド集客を図るべく文化芸術による地方創生施策と連携。

【支援実績例】

- 「海難1890」(平成26年度支援作品) 相手国:トルコ、配給:東映
- ・エルトゥールル号海難事件より125周年を機に製作し、二国間の友好親善に大きく寄与
- ・ロケ地である和歌山県・串本町では自治体と観光協会などが協力し、ロケーションマップを作成。



串本町ロケ地マップ

2. アジアにおける日本映画特集上映事業

平成29年度要求額 82百万円
(平成28年度予算額 31百万円)

【概要】

アジア地域において①日本映画の特集上映、②上映作品の監督やプロデューサー等と開催国の映画関係者との交流、③映画やアニメーション制作についてのワークショップやシンポジウムの開催等により、映画を通じた文化交流、日本映画の海外展開の推進を図る。

【開催実績（平成27年度：インドネシア）】 入場者数：3,128人

- 上映作品：30作品(13プログラム)「蜩の記」、「舟を編む」、「小さいうち」、「かぐや姫の物語」、「エヴァンゲリオン新劇場版Q」、他
- 構成：1、上映プログラム(アニメーションを含む)
2、交流プログラム(上映作品解説、舞台挨拶及び質疑応答、アニメーション制作方法等に関するシンポジウムを開催)
3、行事プログラム(開幕式、オープニング・レセプション等)



開催チラシ



日尼の映画人ゲストたち



日尼アニメーション・シンポジウム